

明野薪能

平成二十一年四月四日(土)
於 筑西市明野公民館大ホール(イル・ブリランテ)
中央公園特設舞台
※花冷えの折、あたたかい身じたくでお出かけください。

【第一部】ワークショップ

午後三時始

大小鼓体験

指導 大倉正之助

能狂言にふれる

能狂言所作 比較

案内人

ワキ方 安田 登
シテ方 清水 寛二
狂言方 吉住 講

謡「高砂」体験

指導 安田 登

【第二部】演能 午後五時始

小舞・狂言

地元の子どもたち

指導 吉住 講

狂言

附子

シテ(太郎冠者)

野村 万蔵

アド(主人)
小アド(次郎冠者)

吉住 扇丞
野村 扇丞

後見 高部 恭史

能

シテ(天人) 清水 寛二

羽衣

ワキ(漁夫白龍)

安田 登

大鼓 大倉正之助 太鼓 大川 典良
小鼓 幸 信吾 笛 栗林 祐輔

和合之舞

後見

鶴澤 光
浅見 慈一

地謡

安藤 貴康
谷本 健吾
長山 桂三
西山 高夫
柴田 稔

素囃子

獅子

大鼓 大倉正之助 太鼓 大川 典良
小鼓 幸 信吾 笛 栗林 祐輔

明野薪能 開催趣意

私たち一人ひとりが自主的な文化を築いていく時、地域の自然や歴史・伝統を活かした独自の視野に立ち、文化の創造がはかれるよう進めていくことが大切になります。
私たちは、今、生活様式や価値観が多様化するなかで、心の豊かさを求めています。
このような中で、自主的な住民参加による明野薪能開催は、地域の文化を創造していく上で、大きな意義を持つものと考えます。
特に将来を担う子どもたちが、日本の伝統芸能に直接触れる体験は、日本の伝統文化・芸能に対する誇りや愛着を醸成するうえで大きな役割を果たすものと考えます。
明野薪能公演は、地域住民の企画・運営・舞台制作によつて開催されます。
私たちは、日本の伝統芸能である能・狂言をとおして、地域での文化の創造と、次代を担う子どもたちが舞台で演じることで伝統文化を肌で感じ、感動を体験することを目的とするなかで、創る感動・参加する感動・観る感動を多くの方々と共有できることを願ひ開催するものです。

平成二十一年吉月

明野薪能実行委員会 委員長 古田部 光文